

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

令和 元 年度事業分

令和 2 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

目次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	10

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和元年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(令和2年4月1日現在)

教育長	箕浦 昭彦
教育長職務代理	大木 寿之
委員	羽田 成夫
委員	松岡 和代
委員	濱田 真代

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	平成31年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局関係職員の人事異動(非常勤特別職等の任命)の専決処分について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	図書館協議会委員の任命について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	町営住宅火災に伴う今後の対応について
		その他	平成31年度教育委員視察研修について
		その他	事務連絡
5月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	校区外就学の専決処分について
		協議	令和元年度教育委員会関係補正予算(第1号)について
		その他	平成31年度教育委員視察研修について
		その他	事務連絡
6月24日	定例会	報告	岸本公民館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例町議会提出案件等の結果について
		協議	伯耆町部活動の在り方に関する方針について
		その他	「夏休みのお楽しみ」事業について
		その他	事務連絡
7月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	特別支援教育就学奨励金の支給の認定について
		その他	前期標準学力調査の結果について
		その他	1学期計画訪問の意見集約について
		その他	教育委員会の活動(点検及び自己評価)について
		その他	事務連絡
8月5日	臨時会	議事	令和2年度に使用する小学校の教科用図書の採択について

		議事	令和2年度に使用する中学校の教科用図書の採択について
		その他	事務連絡
8月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	令和元年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成30年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	議決事項の一部変更について
		その他	全国学力・学習状況調査結果について
		その他	総合教育会議について
		その他	事務連絡
		9月27日	定例会
報告	当面の教育委員会関係行事予定		
報告	9月定例町議会提出案件等の結果について		
議事	校区外等就学の認定について		
議事	要保護準要保護児童生徒の認定について		
協議	総合教育会議の議題の原案について		
その他	事務連絡		
10月30日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	事務連絡
11月29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	特別支援教育就学奨励金の支給の認定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	令和元年度教育委員会関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	伯耆町立写真美術館条例の一部を改正する条例の原案について
		協議	青雲寮改修工事の設計の原案について
		その他	事務連絡
12月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会提出案件等の結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	伯耆町学校施設長寿命化計画(見直し)について

		協議	伯耆町スポーツ振興計画(第2次)について
		その他	令和2年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	令和2年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
		その他	事務連絡
1月29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	学校医の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	伯耆町長寿命化個別施設計画(鬼の館)の策定について
		その他	令和元年度小中学校卒業式と令和2年度小中学校卒業式について
		その他	令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣調査結果について
		その他	事務連絡
2月17日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町図書館規則の一部改正について
		議事	伯耆町立美術館規則の一部改正について
		議事	伯耆町立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
		議事	伯耆町立公民館規則の一部改正について
		協議	令和元年度伯耆町教育委員会表彰(第1次集約)について
		協議	令和元年度教育委員会関係補正予算(第5号)の原案について
		協議	令和2年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	伯耆町営住宅条例の一部を改正する条例の原案について
		協議	業務委託契約の締結に関する議案の原案について
		その他	令和元年度小学校卒業式と中学校卒業式の告示について
		その他	事務連絡
		3月10日	臨時会
議事	令和2年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について		
議事	伯耆町教育委員会教育長の辞職について		
3月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例議会提出案件等の結果について
		議事	校区外通学の専決処理について
		議事	令和2年度伯耆町教育に関する要望の専決処理について
		議事	令和2年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について
		議事	伯耆町立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する規則の制定について

	議事	伯耆町立学校教職員の勤務時間の上限に関する方針の制定について
	議事	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について
	協議	(1) 令和2年度伯耆町学校教育基本方針について
	その他	事務連絡

	開催回数	14
案件別提出件数	報告件数	30
	議案件数	32
	協議件数	20
	その他件数	25
	合計	107

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 中国地区教育委員会連合会研修会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式

(3) その他

- 総合教育会議(1回)

令和 元 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

令和 元 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

(1) 学校・家庭・地域の連携

①家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり

- ・PTA活動の充実
- ・家庭教育講演会・講座
- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など

②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築

- ・伯耆町ネットワーク会議
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- ・地域学校協働本部事業（CSディレクターの配置）
- ・学校土曜授業、社会教育施設土曜事業
- ・放課後子ども教室など

(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発

- ・「保小中一貫カリキュラム」の運用
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・中学校教員の小学校への乗り入れ授業
- ・伯耆町就学支援検討会
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・各種学力調査の分析に基づく学力向上推進計画の推進
- ・夏季等学力補充教室の実施
- ・体力・運動能力調査結果に基づく体力向上計画の推進
- ・町人権教育研究大会
- ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
- ・栄養教諭等による食育の充実など

②教職員の指導力向上のための研修の充実

- ・校内研修への外部指導者招聘
- ・町教振研究大会での悉皆研修
- ・町教委主催各種研修会の実施など

(4) 人にやさしい学校教育環境の整備

①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
 - ・学習支援員と学校司書の配置
 - ・校務支援システムの活用
 - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設・設備の充実
 - ・スクールガードリーダーの配置
 - ・スクールバスの運行体制の充実
 - ・ICT環境の整備
 - ・自然災害等緊急時対応方針の共有
 - ・給食センターにおける調理業務民間委託と管理、施設改修及び設備更新など

2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための環境づくり」

(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供

①生涯学習の推進

- ・公民館改修又は空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増員
- ・地域指導者の発掘
- ・成人団体の育成 など

②読書活動の推進

- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・あたまいきいき音読教室の開催など

(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり

①生活の中にスポーツがある暮らしの支援

- ・幼児・子どものスポーツ活動の推進
- ・ジュニアクラブの活動支援
- ・スポーツクラブとの連携による健康づくりなど

②いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・体育施設の管理及び長寿命化工事の実施
- ・ナイター施設の集約改善
- ・スポーツ団体等の活動支援など

③スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

- ・ジュニアトライアスロンの開催支援
- ・スポーツ交流の充実・支援
- ・競技スポーツの支援など

(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成

①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・「共育」環境づくり
- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘養成など

②家庭教育の充実

- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など（再掲）

- ・放課後子ども教室の設置（再掲）
- ・スクールガードリーダーの配置（再掲）
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

(4) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進
- ・文化センター活動の充実など

(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催
- ・郷土学習の支援
- ・文化財の保存・展示施設の整備
- ・情報発信、周知活動の充実など

②地域芸術文化の振興

- ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・文化施設の整備及び利用促進
- ・芸術文化活動の発表の場づくり
- ・町文化振興会などの文化芸術団体及び個人の活動支援と活動の周知など

③芸術文化活動を通じた体験・交流の推進

- ・西部圏域の市町村との交流事業の取り組み
- ・読谷村教育交流事業の実施
- ・フォトスクール、ワークショップなど

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

(3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

令和元年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・地域の連携	① 家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり	1	PTA協議会補助金	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和元年度は講師が無償だったこともあり、町の予算の範囲内で開催できた。ほかに補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。 補助金の交付はなかったが、町PTA協議会と教育委員会事務局で連携し事業を実施した。今後も連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		2	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	・保育所の保護者を対象にした家庭教育・子育て講演会、研修会を支援（ふたば保、こしき保、二部保、溝口保、あさひ保） 講師：長谷川理恵氏（開業保健師） ・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施（年6回） ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。 ・講演会の内容を精選し、各保育所の参観日に開催することで、多くの保護者に参加してもらえる配慮した。より多くの方に参加してもらえるよう、啓発に努める。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		3	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えたHP掲載の3冊（前期編・中期編・後記編）の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。 ・保育所・小中学校が、「自分からすすんで学ぶ子どもを育てる」という目標を共有・連携して家庭学習を推進するために、繰り返し活用啓発に努める。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築	4	伯耆町ネットワーク会議事業	生涯学習	社会の一員として自立していく児童生徒育成に向け目指す人間像を設定し、その実現に向けた保小中一貫した共通の取組等の協議を行う。	○町内全域で共通の取組みとして、「あいさつの響き合う町づくり」を目指した取組を推進することとした。 ネットワーク会議（学校・保護者・地域住民）2回開催 ・7月1日 取組の現状と課題についてグループ協議 ・2月14日 保育所・学校の取組について経過報告（成果と課題） 取組の進展に向けたグループ協議 「あいさつの響きあう町 伯耆町」の取組を推進するために、学校・保護者だけでなく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進める。→ 町民あいさつ運動を広げる。チラシ、ポスター、R2年度はのぼり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げる。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		5	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度からは、各学校運営協議	・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・地域の連携 (つづき)	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築(つづき)	6	地域学校協働本部事業	生涯学習	会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	・「地域とともにある学校づくり」の考えが子どもの有無に関係なく浸透するよう、町全体へ周知・啓発し、地域住民の参画を拡大する。また、保護者や地域住民の声を一層学校経営に反映させ、子どもの豊かな育ちにつなげる。	以上
					地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子供たちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①支援実績 学習支援298件、環境整備20件、学校行事19件、児童生徒による地域貢献45件 ②会議 地域学校協働活動実行委員会3回(うち1回は書面会議) コーディネーター定例会10回(うち1回は書面会議) ※新型コロナウイルス感染防止のため3月の会議は書面会議とした。 ③研修 8月2日 全国コミュニティ・スクール研究大会inびんご府中 11月15日 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会 12月19・20日 地域教育力を高めるボランティアセミナー(東京) 1月28日 県地域学校協働活動研修会 ④地域とともにある学校づくりフォーラム(地域学校協働活動報告・交流会9月14日)	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
					・持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ・学校教職員と学校支援コーディネーターとの連携・協働による、社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組及び小中一貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの取組推進。		
7	子供の体験活動事業	岸本公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み公民館教室協力事業は、18回の開催で延べ146名参加、公民館主催及び連携事業では、巣箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学など、5回の開催で延べ80名参加。5回のうち1回は新規(プログラミング教室) ・土曜日のお楽しみでは、4回の開催で延べ54名の参加があった。 ・八郷小児童も参加しやすいようにとの要望があり、八郷小を会場とした子ども体験事業(夏休みのお楽しみ1回、土曜事業1回)を実施したが、参加者が少なかった。事業の見直しや一層の呼びかけを行い、引き続き八郷小児童も参加しやすいように八郷小学校を会場とした子ども体験事業を実施する。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
			溝口公民館	・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々の協力で、世代間交流を一層推進した。 夏季休業中に11事業(前年16)、冬季休業中に2事業(前年3)、中学生ボランティアの協力を呼びかけ、親子料理教室等4事業開催し、延べ331名(前年392名)の親子及び中学生ボランティアたちが有意義なひと時を過ごした。また、夏休・冬休・土曜事業とは、別に成人講座でも子どもたちが参加できる事業を実施した。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・地域の連携 (つづき)	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築(つづき)		子供の体験活動事業(つづき)	二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。 人気の高い講座は複数回実施し、より多くの参加者受け入れに努めた。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力しながら事業を開催し、大いに交流を図ることができた。 夏休みの事業で4館合同の事業を実施し、すべての小学校からの参加により、大いに交流を図ることができた。 米子高専の講座を活用し、普段小学校で体験できない講座を実施。実施回数:14回 延べ参加人員:476名 	
						<ul style="list-style-type: none"> 地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。 4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図る。 米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設。 	
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子ども達の協調性や社会性の醸成を図ることができた。土曜日のお楽しみでは2名、夏休みのお楽しみ事業等では、2事業、35名の参加があり、特に溝口小学生の「冬みつけ」(参加者54名)は日光の大自然を体験してもらえたと感じた。 日光地区協議会を主催として大山日光清流まつり(参加者約150名)を開催、ヤマメつかみ取りなどの自然体験や地区住民同士の交流や義方校区の親子との交流を深めた。実施に当っては、役員の負担軽減のため内容の見直しを行った。 地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討をしていきたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> 各学校で独自の取組を行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。 	
						<ul style="list-style-type: none"> 主な活動 ○作物・米・花栽培 ○職場体験 ○遠足、大山登山の協力 ○スキー教室等 体験活動としては定着してきているが、児童生徒の実態をふまえ、体験を通してどのような資質・能力を養うのかについて再検討していく必要がある。 	
		8	子供の体験活動事業	総務 学事		<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・水) 72回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 90回 主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組 	
						<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・水) 72回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 90回 主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
					を進める。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、3月の活動は中止した。	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。 多様な子供の特性を理解した運営(学校との連携)。 	
		10	伯耆町教育振興会事業 ・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのおたのしみ事業や土曜授業への参加、専門部研修会、地域とともにある学校づくりフォーラムや地域学校協働活動、コミュニティスクールに関する研修会等を開催し、地域学校協働活動の共通理解と着実な推進を図った。 「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニティスクール担当と学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発	11	伯耆町教育振興事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小、小・中の交流を進め連携強化を図った。 共通実践項目や目指す人間像といった理念について、年度当初に確認したうえで、具体的な取組を進めていく。 来年度の最重点項目を「説明・発表の機会の充実と協同的に学び合う活動の充実」とする。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	総務学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研修会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招聘し、学校評価研修、小中一貫授業力向上研修会、小中合同授業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた。 新指導要領の実施に伴い、小中一貫教育カリキュラムの見直しが必要 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		13	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	総務学事	中学校区での保・小・中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を発行した。 岸本中学校区 小中交流会3回 保小交流会9回 溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会16回 今後も学力・体力向上や不登校防止など、成果を見極めて内容を精選し、課題に応じた取組を進めていく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		14	中学校教員の小学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 算数、音楽について、溝口中学校から二部小学校・溝口小学校へ乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。 教職員の配置により、乗り入れ授業の実施の可否が決まるので、必ずしもそれぞれの学校の課題に応じた配置や計画になりにくい面がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発(つづき)	15	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適応などの2次障害を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。 ※保→小13件、小→中11件の事案について対応・支援 ・観察記録シートの改善をし、視点を細分化した必要な支援についての協議の充実が図れた。 ・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。 ・保小の接続においては支援引継シートで必要な情報や効果的な支援が確実に伝わる工夫を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		16	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中からみた発達障がいの子どもの理解と支援に関する研修会を開催し、発達障がいの子どもたちが抱える課題や分析実験シートによる子どもの見とりに関して知見を深めた。 ・他校の教職員との交流による情報交換や意見交換を行い、支援の充実に努めた。 ・保小中で共通して学べる事例の設定の検討が必要 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		17	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区：各学期2回、溝口中校区：各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	18	学力向上推進計画策定と進捗管理	総務学事	全国学力・学習状況調査及び標準学力調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎に児童生徒の学力向上に向けた取り組みを計画的に実施すると共に、継続的な計画の取り組みによって、的確な指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査及び標準学力調査の結果をもとに、各学校毎に学力向上に向けた取組を計画を実施することができた。 また、各学校が次年度の学力向上計画を作成し、これらをもとに町としても学力向上推進計画を作成することができた。 ・計画訪問、授業研究会等で、随時各学校の取組状況を確認しながら、指導助言にあたるようにする。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		19	標準学力調査及び分析の実施	総務学事	標準学力調査を年2回実施し、学力の定着状況を把握・分析することで、児童生徒の課題の改善及び教育施策の成果と課題を検証する。また、教育指導の改善、学力向上推進計画のPDCAを継続的に行う体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校教務主任と連携し、各学校が標準学力調査の結果を詳細に分析した上で、各校の取組を共有し、児童生徒の課題・改善に向けた取組につなげることができた。 ・計画訪問、授業研究会等で、児童生徒の課題を明確にしなが、各学校の取組に対し、指導助言にあたるようにする。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進(つづき)	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	総務学事	各学校毎に、学習状況に課題のある児童・生徒を対象にした学力補充教室を開催すると共に、指導補助員を配置し、よりきめ細やかな指導体制を整備することで、児童生徒の学力向上を図る。 また、英語教育推進を目的に、英語学習に目的意識を持って取り組めるよう英検受験料補助事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校で夏季休業中に学力補充教室を開催し、外部指導者や中学生ボランティアの協力も得ながら個々の児童生徒の学習状況に応じた、きめ細やかな学習指導・支援を行うことで、学力向上を図った。中学校では放課後学習も実施している。 英検受験では、溝口中学校会場で、小学生の受験を実施した。 学校規模によっては、実施回数の確保が難しかったり、参加者が多いため個別の課題に応じた支援が難しかったりするため、実施方法等について工夫・見直しが必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		21	体力向上計画策定と進捗管理	総務学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導体制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果を基に、各学校毎に体力向上計画を策定し、課題に応じた体力向上の取組をすることができた。特に鳥取県の課題である柔軟性については、具体的な数値目標を決めて取組を進めた。 課題となる種目があり、今後も経年で系統的に実態を把握しながら取組を継続していく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		22	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 町人権教育研究大会、地区進出学習会・文化センターでの現地学習等を開催するほか、町人権同和問題実践研究・ひまわりセミナー・だんだんまつり等に参加し、教員の知識・技能の向上など人権教育の一層の充実を図った。 人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、足並みをそろえるところはそろえていく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		23	小学校外国語教育推進事業	総務学事	令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校への英語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置して英語活動を支援するとともに、国際理解教育を支援した。また、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		24	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名づつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実を図った。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	栄養教諭による食指導	給食センター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。 また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年8回実施。 令和2年度は、栄養教諭が育休・産休のため、代替及び加配の学校栄養職員、計2名体制となるため、少なくとも現状維持できるよう努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進(つづき)	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	26	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギー対応・歯科保健事業の活用などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。 ・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		27	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動外部指導者活用事業(県事業)を活用し、岸本中学校でバスケットボール部、溝口中学校で剣道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。 また、中学校部活動指導員配置事業(国事業)も活用し、岸本中学校で柔道部及び卓球部、陸上部に、溝口中学校では柔道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図ることができた。 ・引き続き、県事業及び国事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指導者及び部活動指導員を配置し、部活動の活発化、生徒の技能向上並びに教職員の負担軽減を図りたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		28	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小5名、八郷小2名、二部小5名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業の充実が見られた。 ・引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		29	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・通学合宿等の宿泊施設として利用することで有効活用に努めた。また、溝口中学校調理教室の老朽化対策として、青雲寮を合宿施設と調理教室の複合化によって、さらなる有効活用が図られるよう改修工事に向けた設計を行った。 ・青雲寮の改修工事後の管理体制について検討が必要 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		30	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	総務学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校授業研究会のほか、本事業で外部講師による授業研究会等を岸本小学校1回、八郷小学校2回、溝口小学校1回、二部小学校2回、岸本中学校1回、溝口中学校2回を開催した。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	31	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	総務学事	小中一貫教育・人間力定着の取り組みをより有効なものにするため、教員の授業力や管理職等のマネージメント能力を高める管理職研修会等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘し、小中一貫授業力向上研修会を開催した。教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた。 ・取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ ぎ)	32	伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会	総務 学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教 職員の資質向上を図るため、本町独 自の研修を実施する。	・町内保・小・中の全教職員等を対象に、「よりよい社会(地域)づくりに貢献する 園・学校の在り方」を演題とする講演会(講師:前鳥取市立桜が丘中学校 校長 中宇地 昭人先生)を開催し、地域とともにある学校づくりについて、学ぶ機会を 設けた。 ・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向 上を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		33	伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会	総務 学事	授業研究会を開催することで、個々の 教職員の資質・能力を高めるとともに、 教職員の協働性を高め学校力の向 上・充実を図る。	岸本小1回 八郷小1回 岸本中2回 岸本中学校区合同1回 溝口小2回 二部小3回 溝口中2回 溝口中学校区合同1回 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		34	伯耆町教育振興 会事業 ・生徒指導	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務 局及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休中の児童生徒向け放送について ・第2回生徒指導担当社会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休中の児童生徒向け放送について ・第2回専門部会 子どもを取り巻くネット社会の現状やそこに潜む危険性(西部少年サポートセ ンター) ・担当者会において全員が集まれるよう、早期の日程調整や年間を通じた日時 の決定など対応を検討する必要がある。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		35	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業・小中一貫 関係事業(NO12 事業の再掲)	総務 学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした 授業づくりのスキルを高めるよう、各中 学校区で全教職員を対象にした授業 研修会等を開催し、授業改善の共通 認識の醸成を図る。	・外部講師を招聘し、学校評価研修、小中一貫授業力向上研修会、小中合同授 業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用 した授業づくりのスキルを高めた。 ・新指導要領の実施に伴い、小中一貫教育カリキュラムの見直しが必要	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		36	学校要請訪問、 学校随時訪問	総務 学事	各学校の校内授業研究会での指導助 言や 授業参観・授業評価及び学校長への 指導助言を目的として学校訪問を実施 する。	・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見 取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の 中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		37	学校計画訪問、 行事訪問、講師 訪問、本務者訪 問	総務 学事	各学校の運営状況及び授業実践の把 握を行うため、各種訪問を行い、各校 の課題改善に努める。	・町教委学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各行事参観、各式典参列) ・西部教育局学校訪問 各学校2回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改 善を促していく必要がある。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備	① 人にやさしい学校教育環境の整備	38	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口中 3学年:1学級⇒2学級 定員1名増 ・二部小 4・5年複式⇒4学年及び5学年単式学級 定員1名増 ・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づきによる速やかな生徒指導の両面で教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。 ・今後は、小学校において増加が想定される複式学級への対応を検討する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		39	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・SSW3人配置(うち1名SV)し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議数 教職員: 35 関係機関含: 47 ・令和2年度よりSSWを1名体制にすることで、町内すべての学校の情報を一元化し、教職員や関係機関の情報をもとに、児童生徒を取り巻く課題解決の糸口を探り、対応にあたる。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	スクールカウンセラーとの連携	総務学事	本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとSCの勤務日を合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握やや問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。 ・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。 ・継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		41	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	総務学事	特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。 ・保護者への相談会を実施し、発達障害をはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。 ・早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制を構築する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員や介助員等を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。 ・学習支援員 岸本小4名 八郷小2名 溝口小2名 岸本中2名 溝口中1名 ・介助員 岸本小1名 ・卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	43	学校図書整備及び図書館司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。 ・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		44	校務支援システムの活用	総務学事	校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、H30年度より運用開始となった。これによりどの学校にも異動となっても同じシステムでの業務となるため、教職員の業務が軽減された。 ・システム研修等を重ねて、一層の有効活用を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		45	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・通級生徒 中学生2人 ・学習指導員1名、相談員2名を配置 ・毎月定例会を開催しSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 ・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。 ・子どもの状況を把握した上で必要な支援について長期的な視点と短期的な視点とを持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		46	就学援助事業 ・要保護、準要保護	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元(平成31)年度認定:88名(56世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(43/56)。 ※入学前支給(12名) ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		47	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元(平成31)年度認定:18名(18世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	48	学校施設整備事業	総務学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。 【主な施設修繕】 八郷小学校屋内運動場改修工事 八郷小学校コンピュータ教室エアコン替工事 八郷小学校特別教室棟外壁等改修工事 R2年度は八郷小学校及び二部小学校のトイレの洋式化改修工事を予定 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	49	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本小：メディアルーム空調機修繕、太陽光発電システム不具合修繕ほか 八郷小：パソコン教室間仕切壁設置、プールろ過フィルター取替ほか 二部小：遊具処理、グランドフェンス補修ほか 溝口小：前庭車止め及びグレーチング設置、校長室雨漏り修繕ほか 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		50	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中：体育館マルチハロゲンランプ取替、プール機械設備修繕ほか 溝口中：トイレ入口引戸修繕、側溝漏水修繕 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		51	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		52	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとにスクールガードリーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		53	バス事業担当課との連携	総務学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。 ・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用際のマナーの徹底などに取り組む。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		54	ICT環境の整備	総務学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度は、国の一人一台の学習用PC配備など「GIGAスクール構想」の準備として、通信環境を整備するための補正予算を提出した。予算は翌年度繰越事業として、R2年度当初予算・R2年度補正予算と併せて、2年度中に一人一台体制を完成予定。 ・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図っていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	55	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	総務学事	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。	危機管理マニュアル及び浸水想定区域にある岸小・岸中・溝小については、水防法に基づく避難確保計画に基づき、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。 ・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		56	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行った。	・調理業務等の民間委託契約の最終年度(平成29年度から)であったため、プロポーザル方式により委託業者を決定し、令和2~4年度の契約を締結した(事業者の変更なし)。 ・各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。 ・調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕、買い替え。 ・学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がないか確認を行った。 ・学校給食だよりに給食のレシピを毎月1品づつ掲載した。また、近年、西伯郡学校給食会栄養士部会が作成し、児童生徒に配布している学校給食のレシピも町ホームページに掲載した。 ・引き続き、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、事務等を進め、アレルギー対応については、問題点等があれば改善していく。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		57	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき100円の補助を実施する。	・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。補助額14,108,700円 ・令和2年度も引き続き補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		58	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】48.6%(前年度41.1%) ・町内産のみで賄えた主な食材 米、そうめんかぼちゃ、ヤーコン、ゆず、スナッフエンドウ等 ・町内産食材の使用率の一層の向上 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	・共同実施で取り組む業務の改善と情報の見える化を重点目標として、定期的な会合を開催し、教材使用届様式の統一、簿冊管理リストの統一化に向けた改定などを行った ・今後、導入が予定されている共同学校事務室での業務について検討していく必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供	① 生涯学習の推進	60	公民館改修又は空公共施設の有効活用	総務学事	溝口中学校特別教室棟の老朽化にのため改修が必要な状況だが、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、R元年度は設計を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口中学校の調理教室と通学合宿等宿泊施設(青雲寮)の複合化を図ること、青雲寮の有効活用ができるよう改修等工事の設計を完了し、R2年度の工事実施に備えた。 ・今後の管理体制等について検討が必要 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。	<ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級(高齢者学級、受講生34名)は、9回の開催で延べ214名の参加があった。他公民館の高齢者教室との交流も行った。 ・成人講座は3回の開催で延べ34名の参加があった。 ・男性講座「楽しみ隊」は、2回の開催で延べ28名の参加があった。 ・家庭教育支援講座は、3月に「ネット依存と人権」をテーマに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止となった。 ・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を年6回開催した。ものづくりやフィットネス、音読、図書の貸出などを行った。 ※3月は、いずれの講座も新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館	また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級は、年々受講生の数が減少している。 ・アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。 ・成人講座及び男性講座は、50代以下の年代層も参加しやすいよう土日の開催を設定(5回中4回)したが、参加者がほとんどなかった。土日開催は引き続き実施し、若い年代層が参加できるような内容も検討する。 ・出張公民館・図書館は、参加者は少人数だが楽しみながら学習している。八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催となっている。また、会場までの交通の便、参加者や年代層の固定化が課題。 	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)	61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	二部 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。 ・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。 ・米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していきたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園・女性学級とともに、事業への参加者が増加傾向にあり、引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。 ・会員数はいづれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。 	
		62	高齢者教室交流事業	溝口 公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・日光学園(高齢者教室 受講生34名)は、町外研修(2回)・健康教室・人権学習等、計9回 延べ168名参加(閉講式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・ふるさと学級は、先進地視察(1回)のほか、男の料理教室(1回)を岸本公民館と合同開催し、山隠れの里との連携により11名参加。また、地域の新たな資源を紹介するナメクジ山ハイキング(1回)を初めて開催し14名参加。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・日光学園生の高齢化により、会員が減少している。 ・日光学園生以外の参加を促すため、地区住民に行事を周知する。 ・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していきたい。 	
63	社会教育委員	生涯 学習	社会教育並びに図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。 ・社会教育委員会の開催 2回 ・意見交換会の開催 1回 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
64	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供 ・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布 		○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
					<ul style="list-style-type: none"> ・八郷地区住民を対象に生涯学習の機会を提供するため、八郷小学校の協力により、R元年度から八郷小学校を会場に公民館出前講座を開催した。 ・今後も住民意見に耳を傾け、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)	65	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 ・今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		66	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。 ・情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	67	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、二部・日光公民館長、文化センター職員が参加)を開催する。 ・町民の図書館への声や意見を集約し、町民に役立つ図書館にするために、図書館協議会を開催し図書運営について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年12回の図書館連絡会を開催し、図書館の活動内容を確認すると共に、選書、改善点等について検討・協議し、より良い図書館づくりを推進した。 ・年4回の図書館協議会を開催し、幅広い年代の方に参加していただき、図書館運営について建設的な意見をいただくことができた。第3回協議会は県内図書館の視察を行った。地域文化の中核としての図書館の在り方や図書館の課題などについて考える機会となった。 また、図書館協議会委員、図書館職員、学校司書が参加することによって、町内の図書館に関わる方々の交流の場となり、町の読書活動推進の話合いがなされたことも有意義な会となった。 ・図書館協議会では図書館活用に関する幅広い意見、課題をいただけてきた。その中でも地域による活用格差が課題として挙げられてきている。その解消ため、令和元年度より、希望地域に出前図書館を開設した。しかし、一部の方のニーズに応えることはできているが、町全体で見れば、まだまだ不足しており、さらなる工夫が必要である。 ・町内には図書館を支えてくださる多くの方の存在があり、今後自治的に図書館運営に参加していただける「図書館友の会」の発足を目指していく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	68	図書館振興事業	図書館	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回)、ブックセカンド事業、ブックサード事業、にこにこおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等啓発</p> <p>(2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送・土曜事業・施設見学、職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立</p> <p>(3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業・秋の読書週間事業・読書グランプリ</p> <p>(4)高齢者支援事業 ・あたまイキイキ音読教室・高齢者福祉施設への本の配送・出前図書館</p> <p>(5)広報事業 ・図書つうしん発行・HP掲載・CATV「とっておき図書館」コーナーの充実</p> <p>(6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力・県内図書館視察・県立図書館主催研修参加</p> <p>(7)検索機器導入 ・全農協データ(アーカイブ)検索・朝日新聞全データ検索可能(1985年以降)(各館独自事業)</p> <p>【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(20回)・ホットケーキミックスコンサート 【岸本図書館】・親子ふれあいコンサート・おはなしのもりスペシャル</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
						<p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発することも公共図書館の重要な役割であると捉え、今後も関係課等と連携を図りながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。</p> <p>・布絵本ちくちく教室では会を重ねるごとに本としての多数の作品が完成している。布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。</p> <p>・令和2年に小学校の教科書が改訂になることから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。</p> <p>また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p>	
69	図書館協議会委員	図書館	<p>・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。</p>	<p>・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方から意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができている。</p> <p>・図書館協議会で課題の一つとして挙げられるのが、「地域間における不公平な活用状況」ということである。元年度より「出前図書館」を開設したが、課題解消とはなっていない。移動図書館者の導入が待たれるところである。それにより、他課と連携することによって、独居老人等の訪問を兼ねた生涯学習の支えになることが期待できる。</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり	① 生活の中に スポーツが ある暮らしの 支援	70	こども体力・運動 能力等向上事業	総合ス ポーツ公 園	保育所の幼児を対象とした体力や運 動能力の向上を目的に、各保育所に 指導員を定期的に派遣し、運動・運動 遊び指導を行う。(スマイリースポーツ クラブ委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内4保育所で年中長児を対象に運動教室を開催。年間計30回実施。 ・運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		71	伯耆町体育団体 等補助事業 ・ジュニアクラブ 活動支援	総合 スポーツ 公園	スマイリースポーツクラブに所属する ジュニアクラブに対し補助を行い、児童 生徒の健全育成、競技力向上、指導 者等の育成及び地域スポーツの振興 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。 ・支援対象ジュニア団体 10種目12団体 ・運動適正テスト 1回開催 57人参加 ・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組むとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		72	スポーツクラブと の連携による健 康づくり	総合ス ポーツ公 園	まめまめクラブ、元気アップ教室やアク アフィットネスなど町民の健康づくりを 目的にした健康対策課所管の各種事 業をスマイリースポーツクラブと連携し実 施する。	<ul style="list-style-type: none"> 町の健康づくり事業をスマイリースポーツクラブに委託し、町民の健康の維持・増進に寄与した。 ・まめまめクラブ 299回開催 延2,084人参加 ・水中まめまめクラブ 75回開催 延682人参加 ・アクアフィットネス教室 37回開催 延223人参加 ・元気アップ教室 24回開催 延349人参加 ・運動による高齢者の介護予防、壮年者の生活習慣病予防などを目的とした健康づくり事業を受託し実施している。健康づくり運動指導者の資質向上にも取り組み、内容を充実したものとした。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		73	スポーツ推進審 議会事業	総合 スポーツ 公園	教育委員会のスポーツに関する諮問 及び町のスポーツ推進に関する事項 について研究協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画(第2次)を策定した。(計画期間:令和元年度～5年度) ・策定に向けて審議会を1回開催した。 ・第2次計画策定は第1次計画実施状況の検証やH30年に実施した住民アンケート結果を反映したものとなった。今後は、施策実施に向け取り組んでいく。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		74	スポーツ推進委 員事業	総合 スポーツ 公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・ 普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・郡、県、中国研修会等に参加し指導委員としてのスキルアップが図られた。 ・町の体育行事等運営協力のほか、「ほうきスマイリースポーツクラブ」事業の企画・運営を行った(スポーツ推進委員3名が理事) ・研修で学んだ内容を実践できる企画の検討 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策 ・委員の任期は2年間で、令和3年度が改選となる 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		75	スマイリースポ ーツクラブ支援 (スマイリー独自 活動支援関係)	総合ス ポーツ公 園	スポーツを通じて地域住民の健康増 進・技術体力の向上を目的とする総合 型スポーツクラブであるスマイリース ポーツクラブの運営に必要な経費につ いて補助金を交付し、活動を支援す る。	<ul style="list-style-type: none"> スマイリースポーツクラブの活動を支援することで、町民がスポーツに親しみ健康の維持増進を図ることに寄与した。 主な独自活動 ・スポーツ教室:トライアスロン教室2回51名、夏休み短期水泳教室1回29名、スキー教室1回15名、親子運動教室6回151人 ・スポーツ大会:女子ソフトバレー大会1回14組、ナイターグラウンドゴルフ大会1回32名(指導者派遣)PTA行事等3回292名 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つづき)	② いつでも気 軽にスポー ツができる 環境づくり				る。	・スマイリースポーツクラブは自主運営が求められる一般社団法人であり、今後の安定経営の在り方について検討が必要		
		76	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行う。また、管理運営に必要な備品・機材を整備する。	各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く ・社会体育施設 (町民体育館ほか) 29,132人(2,291人減) ・総合スポーツ公園 35,468人(5,264人増) 社会体育施設は利用者数が減少し、スポーツ公園は利用者数が増加した。 ・平成30年7月、すこやか村施設は廃止となった。 ・平成31年3月、スポーツ公園にゲートボール場を整備した。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		77	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行う。	(主な施設修繕) ・岸本武道館 窓修繕(網戸設置)、照明修繕 ・溝口武道館 照明修繕 ・岸本体育館 アリーナ入りロピア修繕 ・町民グラウンド 不要ベンチ撤去、屋外時計修繕 ・スポーツ公園 焼却炉撤去、遊具修繕、屋外時計修繕 (主な業務委託) ・スポーツ公園芝生等更新作業及び野球場内野整備 ・各体育館消防設備保守点検業務 (主な備品購入) ・スポーツ公園ラグビー場少年用サッカーゴール2対(改修工事) ・野球場本部棟の雨漏り対策、分電盤浸水による漏電対策のため改修工事 ナイター照明の在り方等について検討が必要	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		78	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属する各体育部に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	アスリートクラブ(旧体育協会所属団体)の活動を支援し、競技力の向上、競技普及及び郡体、県民スポレク等各種競技大会へ参加を支援した。 ・町スポーツ大会では、主管団体が大会運営に参加し、競技の振興に寄与。 ・支援対象アスリートクラブ団体 7種目7団体 ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		79	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。 ・町内の団体・個人について、スポーツ公園グラウンドゴルフ場、ゲートボール場の使用料を無料とし、施設の有効利用促進を図った。 ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つづき)	② いつでも気 軽にスポー ツができる 環境づくり (つづき)	80	教育委員会表彰 事業	生涯 学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化 において、顕著な活躍をした者を表彰 することにより、スポーツ・芸術文化の 振興を図るとともに、被表彰者の今後 の励みとなるよう住民に周知する。	令和2年3月14日(土) 会場: 鬼の館で予定していたが、新型コロナウイルス感 染症対策のため中止し、大賞受賞者には訪問、優秀賞以下については学校経由 または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者: 芸術文化の部 52名 1団体 スポーツの部 97名 5団体 児童・生徒以外の一 般の対象者の把握が課題である。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上	
						・令和元年8月18日に第25回大会開催 大会エントリー者数は212名で、25年間 の延べ参加者数が6,000人を超えた。大きな事故やトラブルはなく大会を開催でき た。 ・猛暑対策が大きな課題である。 ・適正規模の大会となるよう、参加者定員240名としている。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
	③ スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進	81	オールジャパン ジュニアトライ アスロンin伯耆補 助事業	総合 スポーツ 公園	全国の小学生を対象にトライアスロン 競技を開催するための事業費の一部 を助成する。	・町民運動会岸本地区大会を10月6日に開催する予定だったが、雨天によるグラ ウンドコンディション不良のため中止となった。実行委員会を組織し、住民参画に よる運営に努めた。中学生ボランティアの協力を呼びかけ6名の申込があった。 ・アンケートにより、競技役員から出された課題を検討し、今後の企画・実施に反 映させる。また、集落内の高齢化等により参加集落が年々減っている傾向にあ る。参加種目・年代等検討する必要がある。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上	
岸本 公民館						町民総スポーツの中心的事業として 運動会を開催し、子どもから高齢者ま での参加により地域の連帯感、親睦を 深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる 実行委員会を組織し、企画、準備、運 営を行なっている。	・町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月20日に開催する予定であ ったが、雨天中止となった。溝口地区の町民スポーツの中心的事業として開催し、健 康増進、親睦、地域の連帯感の醸成に寄与するよう努めた。 ・事業運営にあたっては、実行委員会を組織し、中学生ボランティアの協力も呼び かけた。競技内容はほぼ例年どおりであるが、時間短縮や順位判定を簡便性を 図るための競技規則の改善に努めた。 ・H29年度、H30年度、R元年度と3年連続で雨天中止となった。実行委員会の中 でも町民運動会の開催に一部否定的な意見もあるが、前向きに協力をいただ ける方が大半であり、今後も競技の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢 者までみんなが楽しみ、親睦が図れる運動会にしていく必要がある。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
							溝口 公民館	・町民運動会二部地区大会 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として計画し、10月6日実施予定で あったが、荒天のため中止した。 ・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催によるノ ルディックウォーキングを開催し、健康増進・交流に寄与することができたが、グラ ンドゴルフ大会、カローリング大会は、悪天候のため中止した。 ・町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業 が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。 ・運動会は、地域住民の年代に偏りがあり、種目内容の見直しを行った。
地区運動会・そ の他イベント開催 事業	82	二部 公民館	二部 公民館	・町民運動会二部地区大会 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として計画し、10月6日実施予定で あったが、荒天のため中止した。 ・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催によるノ ルディックウォーキングを開催し、健康増進・交流に寄与することができたが、グラ ンドゴルフ大会、カローリング大会は、悪天候のため中止した。 ・町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業 が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。 ・運動会は、地域住民の年代に偏りがあり、種目内容の見直しを行った。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つつぎ)	③ スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進(つ づぎ)			日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会日光地区大会 10月20日開催 日光地区の町民スポーツの中心的事業として開催し、健康増進・親睦・地域の連帯感を深める交流活動に寄与することができた。実行委員会を組織して中学生ボランティアの協力を得るなど住民の協力により実施した。 ・伯耆町駅伝大会 10月14日開催 昨年より少なかったが25チームの参加があり、日光女性会の豚汁や参加賞のりんごで日光の自然の恵みをPRした。 また、交通整理員の派遣を各集落で対応してもらった。 ・日光地区協議会主催のグラウンドゴルフ大会を毎年6月に開催していたが、例年参加集落が少なく今年度から中止とした。 ・運動会の競技内容の検討が必要であり、実行委員会と協議をする。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		83	生涯スポーツ振 興事業(スマイ リーへのスポー ツ大会運営委託 関係)	総合ス ポーツ公 園	一般町民を対象としたスポーツ大会を町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、町民の健康づくり及び町民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。	<ul style="list-style-type: none"> 一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業を計画したが、野球大会は雨天のため中止となった。 ・4月 ハドミントン大会26チーム208名 ・5月 ソフトテニス大会16チーム128名 ・9月 野球大会(雨天中止) ・10月 駅伝大会25チーム150人 ・11月 バレーホール大会22チーム264名 ・1月 ハドミントン選手権大会40名 ・3月 卓球大会20チーム160人 ・参加者が減少傾向である。参加しやすい大会となるよう大会要項等を検討する。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		84	生涯スポーツ振 興事業(ジュニア スポーツ大会関 係)	総合ス ポーツ公 園	町内の小学生を対象にしたスポーツ大会を開催し、スポーツに親しむ基盤づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図った。	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象としたスポーツ大会・教室を開催した。 ・5月 スナッグゴルフ大会16名 ・7月 B&Gチャレンジスポーツ教室25名 ・9月 学童水泳記録会37名 ・2月 B&Gジュニアハドミントン大会30名 ・上記の町主催事業以外にスマイリースポーツクラブ主催事業として、水泳教室・スキー教室・トライアスロン教室・親子体操教室が開催されている。児童のスポーツへの動機づけとなるよう今後も事業の開催を支援する。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		85	伯耆町駅伝	総合 スポーツ 公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている、地域に密着した大会として開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の日に開催し、日光地区の協力による汁の振る舞いも好評だった。参加25チーム150名 ・アップ・ダウンがある厳しいコースである。また、駐車場が不足するなど、会場に課題がある。 ・平成30年に近隣の道路で交通死亡事故が発生したため、黒坂警察署から十分な安全管理を求められている。 ・上記のような課題があるが、日光地区の風物詩的行事であり、地区の合意がある限りは現状の開催地としたい。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		86	スポーツ優秀選 手支援事業	総合 スポーツ 公園	町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 17件 ・全国大会等に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 23件 ・補助要項の見直しを行った(選手の競技レベルに合わせた補助内容とし、その年数を明確にした) 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成	①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	87	中学校区の児童生徒を語る会 (No17事業の再掲)	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区:各学期2回、溝口中校区:各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		88	学校運営協議会運営事業 (No5事業の再掲)	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度は、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進することができ、教職員への地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。 ・「地域とともにある学校づくり」の考えが子どもの有無に関係なく浸透するよう、町全体へ周知・啓発し、地域住民の参画を拡大する。また、保護者や地域住民の声を一層学校経営に反映させ、子どもの豊かな育ちにつなげる。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		89	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催(1回)※第2回は新型コロナウイルス感染症対策により書面開催 ・青少年育成伯耆町民大会の開催(1月26日、参加者147人) ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加(4回) ・通学路安全点検の実施(22か所)※新規 ・少年を守る店啓発事業(8店舗) ・「家庭の日」標語の募集(応募数320点) ・家庭教育講演会、研修会の開催 ・通学合宿(10月、4・5・6年生参加者30人) ・高校生ユースセミナーでのボランティア ・家庭の日(毎月第3日曜)の存在が町民に浸透していない。周知方法の検討が必要。広報やHPでの活動の周知が必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		90	PTA協議会補助金 (No1事業の再掲)	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和元年度は講師が無償だったこともあり、町の予算の範囲内で開催できた。ほかに補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。 補助金の交付はなかったが、町PTA協議会と教育委員会事務局で連携し事業を実施した。今後も連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		91	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくりを行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 町内の各種イベントへのボランティア参加や高校生同士の交流会を開催した。予定していたイベントが、台風等で中止となり残念だったが、いろいろな方との繋がりを持つことができた。(高校生参加者数) ・フィットネスバル主催イベント3人 ・岸本きないや祭 3人 ・成人式受付 5人 ・活動のリーダーとなる人物を発掘・育成し、活動の充実を図る。 ・継続的に事業を行えるよう、新規参加者の確保について、工夫が必要。受け皿となる地域の団体との連携も必要。 ・中学生にもボランティアでの参加を募る。 	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備(つづき)	92	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	と き:8月15日/新成人出席者90人 出席率78.9% と ころ:鬼の館 ・記念品贈呈・記念撮影 ・台風の影響で、講演会や太鼓演奏を取り止め、内容を短縮して実施した。 法改正により成人年齢が18歳に引き下げられる令和4年に向けて、今後の成人式の在り方を検討	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		93	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	と き:10月22日(火)～26日(土) と ころ:青雲寮 対象学年:4～6年生 参加者数:30人 ・対象を4～6年生としており、縦の繋がりによる人間関係の構築や協調性・自主性などに関する貴重な体験ができた。 ・スタッフ確保が課題。島根大学に協力依頼し1名の参加があった。 ・祝日を挟んでの日程であったため、日程を短縮して実施したところ、日程が例年より短かったため、スタッフの確保ができた。今後は日程について検討が必要。 ・応募者が例年になく多く、新規参加者を優先した。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 家庭教育の充実	94	家庭学習ハンドブック配布及び活用事業(No3事業の再掲)	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えたHP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。 ・保育所・小中学校が、「自分からすすんで学ぶ子どもを育てる」という目標を共有・連携して家庭学習を推進するために、繰り返し活用啓発に努める。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		95	放課後子ども教室(No9事業の再掲)	生涯学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、3月の活動は中止した。	実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・水) 72回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 90回 主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 ・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。 ・多様な子供の特性を理解した運営(学校との連携)。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
96	学校安全体制整備推進事業(No52事業の再掲)	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	② 家庭教育の充実(つづき)	97	家庭教育支援事業 (No2事業の再掲)	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の保護者を対象にした家庭教育・子育て講演会、研修会を支援（ふたば保、こしき保、二部保、溝口保、あさひ保） 講師：長谷川理恵氏（開業保健師） ・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施（年6回） ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。 ・講演会の内容を精選し、各保育所の参観日に開催することで、多くの保護者に参加してもらえる配慮した。より多くの方に参加してもらえるよう、啓発に努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(4) 人権尊重のまちづくりの推進	① 人権教育・人権啓発の推進	98	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題の学習啓発事業の企画運営及び、各種学習会を実施した。 ・ひまわりセミナー開催(9回参加者359人) ※新型コロナウイルス感染症対応により一部中止 ・人権啓発標語募集事業の実施(応募数845点) ・各種研修会・大会への派遣(5か所参加者8人) <p>ひまわりセミナーは個別具体的な人権課題に、明るいまちづくり懇談会は普遍的な人権課題に取り組むことで、人権学習の体系を整備する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		99	人権教育・啓発推進協議会運営事業	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> (1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践 ・各種人権週間広報啓発活動 ・新しい小地域懇談会プログラムの作成 ・明るいまちづくり懇談会開催事業(45集落578人) ・明るいまちづくり懇談会合同説明会(3会場167人) ・明るいまちづくり懇談会ファシリテーター研修会(ファシリテーター推進員全員) ・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数845点) (2)研修会及び講演会の開催 ・人権・同和問題実践研究交流会(参加者234人) (3)資料の刊行及び啓発 ・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業) ・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸) (4)関係機関団体との連携 ・研究校の指定と授業研究会の開催 ・各種研修会・大会への派遣(8か所参加者50人) ・各種団体の活動支援 <p>・明るいまちづくり懇談会は、令和元年度から鳥取県教育委員会の方針に沿って、「普遍的な人権課題に参加型学習で取り組む」という新しい方針で懇談会プログラムの見直しを行った。当面は、本プログラムを基に懇談会を運営する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 人権尊重のまちづくりの推進(つづき)	① 人権教育・人権啓発の推進(つづき)	100	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターを核として各種人権関係事業に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(5人) 23回(たくしクラブも参加) 延べ173人(内たくしクラブ70人) 中学生(1人) 22回 延べ22人 ・相談事業 随時 ・各種教室・講座 4教室、各種講座 延べ64回 535人参加。 ・ミニデイサービス事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ12回209人参加 ・百円ランチ 11回 139人。 ・交流研修事業 町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会10回 参加者172人。 ・年間を通じての体験教室・講座で作品作りを行い、2月開催「だんだんまつり」へ多くの作品を展示することができ、また、「だんだんまつり」で体験教室を開催し、子どもから大人と多くの方に来館していただいた。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 ・文化センターでの小中学生の人権学習について、溝小やたくしクラブの学習参加もあり、なかま学習・交流を深めることができたが、地域改善も含め地域の歴史等を教えることについては、まだ課題(差別の助長、寝た子を起こす論議的な考え)があり、引き続き検討が必要である。 ・環境面の地区改善に関する相談が多かった。相談業務の拡充を図りたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		101	男女共同参画推進事業	人権政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から所管課が総務課になったが、個別の人権課題の一つとして、引き続き、広報、啓発を行った。 ・今後も、総務課と連携して併発活動を継続・展開する必要がある。 		○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		102	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図った。令和元年度は、火災により被災した住宅及び老朽化した住宅の解体撤去を行った。 ・町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。 		
2-(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造	① 文化財の保存と活用	103	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○福島城発掘調査(福島地区砂防堰堤建設工事に伴う文化財調査) ・H31.5.15~R2.3.30実施 調査面積 1,353㎡ ・調査結果 平安時代末~鎌倉時代初の鉄関連炉跡、戦国時代の福島城の遺構(炉、柵列等)遺物(コンテナ約120箱)を整理し、報告書作成した。 ○白水所在遺跡発掘調査(鉄塔建設工事に伴う文化財調査) ・R2.3.23~R2.3.27実施 調査面積 22㎡ ・調査結果 古代~中世の遺物の出土が若干あったが、圃場整備による削平が著しく、遺構は既に破壊されていることが判明した。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづ ぎ)	① 文化財の保 存と活用(つ づき)					福島城遺跡整理作業において、識者参加による遺跡検討会を実施し、この重要遺跡の報告に正確を図ったが、その後の整理作業に予定より多大な時間を要し、他の町内遺跡発掘調査のスケジュールに支障をきたした。今後は、よりの確なスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。	
		104	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及を行う。また、出土品の展示や歴史文化に関する講演会等を開催し、郷土の歴史学習の機運を醸成する。	・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件 ・指定文化財の維持(草刈り、除草等)を実施した。 ・埋蔵文化財の整理作業(福島城遺跡整理)に予定より多大な時間を要したためスケジュールに支障をきたし、指定文化財の維持、講演会開催等が実施できなかった。今後は、よりの確なスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		105	文化財整理・保存施設管理事業	生涯学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文化財整理・保存施設として再整備するとともに、民俗資料及び文化財の常設展示を行い、貴重な資料・文化財を後世に伝える。	収納されている民具及び埋蔵文化財の整理作業を実施した。H30に旧保存施設より移動したままの状態であったため、梱包の箱を開封し、内容、状態の確認をし、詳細な整理作業の準備として大まかな分類、移動を実施した。 埋蔵文化財の整理作業(福島城遺跡整理)に予定より多大な時間を要したため民具整理のスケジュールに支障をきたし、本格的な整理作業にふみこめなかった。今後は、よりの確なスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
	② 地域芸術文 化の振興	106	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	岸本公民館さきないや祭として11月16・17日に開催した。 ・公民館の展示の多くを岸小体育館に移したことによってできたスペースで、発表会と体験コーナーを開催した。(発表会4団体、体験コーナー8団体が参加) ・「ぜんざい」、「豚汁」の無料提供は好評だった。 ・岸小体育館の入場者数が前年度比104%増だった。(1,209名) ・公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。また、他公民館の出品も検討する。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口公民館		・溝口公民館祭 3月20・22日開催予定で準備を進めた。実行委員会を組織し、住民参画により運営した。例年作品展示中心のまつりであったが、同好会や各教室の高齢化により展示作品も少なくなってきたため、発表の場を設ける準備をした。作品の有無にかかわらず、全部の同好会に実行委員会に入ってもらい、会場設営・撤去作業に協力をいただくほか、中学生ボランティアの協力も得た。残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				二部公民館		・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。 ・中学生ボランティアには自主性を尊重するとともに、負担感とならないよう配慮し、参加した中学生の社会性の意識向上・醸成に繋がるよう努めたい。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%
				・第36回たたらまつりを 2月22日～24日開催 延べ862名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「日本の文化 和装」等を行い、交流・親睦を図った。 ・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりができた。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)					<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。 ・第40回日光ふるさとまつり 3月7日～8日開催に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。実行委員会を組織し住民参画により、地区住民・各種同好会の作品展示・体験コーナー・農産物の即売・日光そば・餅つき等の催しの他に義方公民館の協力を得て海産物の即売を予定していた。 ・実行委員会では地区住民の意見を十分に取り入れて事業内容を検討。 	以上
		107	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めてもらう取り組みができた。 ・年間説明団体 38団体 約1,050人 ・入館者数23,040人(過去5年間の平均入館者数 21,962人) ・町民入館者数468人 ・企画展3回、地元TV放送、その他雑誌掲載 ・今後も美術館に関する説明を積極的に行い、来館者の満足度を高める取組を行う。 ・日韓関係の悪化、新型コロナウイルスの影響により入館者が減少している。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		108	写真美術館改修事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の長寿命化、省エネ化を図るため、老朽化した設備の改修工事に向けた、実施設計業務及び改修工事を実施した。 ・LED工事事務室設計及び改修工事(全展示室、1階ホール、トイレ、事務室、廊下) ・玄関自動ドア取替工事(センサー交換、外側ガラス取換え) ・来客用トイレ改修工事(洋式化3基、自動水栓取替) ・玄関先広場排水工事(排水樹2基、排水溝 L=14m) ・A展示室内壁補修工事 ・エレベーターの保守部品供給がR5年で終了するため、更新を検討する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		109	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後20年以上経過し、空調機器の老朽化による故障が発生、修繕を行った。 ・町民音楽祭、文化展等を実施し、文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供した。 ・元年度は、鬼の館の長寿命化等改修に向けて、長寿命化個別施設計画を策定 ・長寿命化及び利用実態に即した施設の改修計画の検討する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		110	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・宝くじ文化講演会を開催した。参加者 280人 ○日時 10月27日(日) ○場所 鬼の館 ○講師 明治大学文学部教授 齋藤 孝氏 ・著名な講師だったため、多くの方に来場いただき盛況だった。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		111	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。 ・文化の継承のためにも、団体の安定的な運営に向け継続した支援が必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづき)	② 地域芸術文化の 振興 (つづき)	112	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数51人(令和2年3月現在)	各専門部会それぞれで活動を行える体制づくりをし、住民自ら各種事業を企画運営する体制を整え、各種事業を実施できた。 ○総務部会 ・文化講演会(参加者73人) ・会報15号発行(全戸配布) ○美術部会 ・文化展(来場者201人) ○音楽部会 ・町民音楽祭(来場者300人) ・HOUKI MUSIC FEST2019(109人) ○歴史文化部会 ・たたら製鉄の遺跡を訪ねて(参加者17名) ・各部員が、より自発的に活動するよう、一層の意識改革が必要。 現在は部会により、偏りがある状況。 ・役員、会員の高齢化。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		113	教育委員会表彰事業 (No80事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	令和2年3月14日(土) 会場: 鬼の館で予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止、大賞受賞者には訪問、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者: 芸術文化の部 52名 1団体 スポーツの部 97名 5団体 児童・生徒以外の一般の対象者の把握が課題である。	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
	③ 芸術文化活動を通じた 体験・交流の 促進	114	社会教育主事等の育成 (No65事業の再掲)	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 ・今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		115	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	夏: 8月2日～5日 沖縄県読谷村を訪問し、様々な異文化体験や交流活動などを行った。 伯耆町参加者数 小学生7人、高校生2人 冬: 2月7日～9日 伯耆町でスキー等体験・交流活動を行った。 伯耆町参加者数 小学生7人、高校生2人 ・相互交流の実施により、子どもだけでなく保護者同士の交流にもつながった。 ・参加者が集まりにくい。学習会等事前準備の充実を図る必要がある。 ・ジュニアリーダーの高校生の確保が課題。 ・冬の交流の受け入れ側のスタッフ体制。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		116	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。	・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても10講座 209名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体、公民館サークルからの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行う。 ・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できにくくなっている。 新たな借入先を見つけるか、購入するか等の検討が必要。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ推進審議会委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	少ない職員で、これだけの事業を行わていることに敬意を表します。いつもありがとうございます。
	伯耆町のために、各担当で事業を行っていただいている。改善により、よりよいものにしていったらいいと思う。これからも伯耆町の子どもたちが自信を持って生きていけるように事業を継続してください。
	多彩な事業を遂行されている方々に敬服致します。一層創意工夫を図り、成果をあげられることを希望します。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	PTA協議会補助金	PTA協議会が主催で行うよりも、協賛で行う方が現実的だと思います。不要ではないでしょうか。
2	家庭教育支援事業	特に保育所の保護者は子育てについて強い関心をもっておられると思います。
3	家庭学習ハンドブック配布及び活用事業	本校においても、学年懇談会での周知、活用を図っています。 PTA協議会、各単位PTAとも連携して、さらなる啓発に努めていただきたい。 在籍される先生方が大きく入れ替わると、活用事業を周知されるのは難しいのでは、と思います。 今後も、新1年生への家庭学習ハンドブックの配布を引き続き行うことができるようお願いいたします。
4	伯耆町ネットワーク会議事業	会議としては定着してきていると思います。今後の教育行政の施策について意見を出し合う会としても位置付けていけばどうでしょうか。 保小中一貫した共通の取組の協議を行う会議の担当が、生涯学習室というのが不自然に感じられます。学校関係の担当となるのではないですか。そもそも、学校が中心になるべきではないかと感じます。 時々登校時見守りで溝口駅前に立つことがありますが、子どもたちが元気で挨拶してくれます。ネットワーク会議事業の成果ではないでしょうか。 No4.5.6の3事業が一体の取組となるようにすべき。特に、No6の運営委員会とNo4の会議が別であり、まとめて協議、運営してはどうかと考える。 町内共通の取組「あいさつの響き合う町づくり」を学校評議委員会・PTA役員会との話し合いを行い実践に取り組んだ。町内でポスターやチラシ配布、令和2年度は、のぼり旗を5本校地内に設置することで、来校された方へのあいさつ運動の啓発につながっている。 成果を何によって、どのように評価するかを検討すること。このことが、実施方法、実施体制を確かなものにするかと考える。
5	学校運営協議会運営事業	本校では、学校運営協議会はあたりまえのものとして捉えています。町の広報誌をつかって、各学校の委員を公表することも必要ではないでしょうか。 学校運営協議会の知名度も、開始当初に比べて少しは上がったのでは。特に保護者の方に。 地域学習について運営協議会で取組を説明し、意見交換を行うことで、学校での学びを地域に広げることができた。今後も児童につけたい力を明確に、地域に開かれた学習過程を展開し、学校の学びを地域と協働して行う地域一体化の学校づくりを推進していきたい。 地域の人を学校教育活力に目を向ける機会が得られることにより、保護者と協同で子どもの学力・生きる力の向上に役立っていると思う。
6	地域学校協働本部事業	「児童生徒による地域貢献45件」とあるが、延べ人数にすればかなりの生徒が地域のボランティアに参加している。この表記では、「45人しか参加がなかった」と誤解する人があるのではないかと懸念する。 保護者にもっとボランティア登録をして頂き、卒業後も継続してもらえると良いと思います。 この事業も、中心は学校になるべきではないかと感じられます。学校が中心になるべきではないでしょうか。学校が教育委員会と連携しながら実施ですから、生涯学習室の事業ではない感じがします。学校が地域とつながる事の必要性をどのくらい重要だと感じられているのか、一人ひとりの先生に伝わっているのでしょうか。やらされ感はないでしょうか。
		八郷小を会場とした事業を行われたことが評価できます。 様々な子ども体験活動を実施され、多くの子どもたちが参加されたようで、素晴らしいと思います。地域学校協働本部の登録ボランティアの方と一緒に企画運営などができれば、地域の人々との交流にもなっているのではないのでしょうか。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
7	子供の体験活動事業 (公民館等事業)	<p>子どもの発育・発達段階(学年)を踏まえた事業実施が、より成果を高めると考える。(集団の組織の在り方) ※NO8、NO9の事業も同様</p> <p>多くの事業が企画され、子どもたちは楽しく参加できている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため子どもの体験活動は中止となっている。ぜひ、事業再開の折には、プログラミング教育等専門的な体験講座の開設を引き続き、行っていただきたい。</p> <p>子どもたちにふるさとのよさ、すばらしさを体験できる機会をもう少し増やしてほしい。</p>
8	子供の体験活動事業 (学校事業)	<p>職場体験の実施について、大変助かっています。</p> <p>登山やスキーに関しては、まだまだ長けている人材が隠れていると思います。保護者に積極的に参加して頂けるコミュニケーションを普段から取れると良いのですが。</p> <p>学校での体験活動では、指導・準備・手伝いなどしてもらってばかりですね。地域の方々役に立つような体験も必要ではないでしょうか。</p>
11	伯耆町教育振興事業・保小中一貫教育	<p>岸本中学校区としてはPDCAを回して取り組んでおり、学校連携が進んでいると思います。</p> <p>保小中一貫教育というのが管轄でちがいで、どうしてもつながっていないような雰囲気がある。お互いに知ろうという努力が必要だが、難しい。</p>
12	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	<p>一貫カリキュラムの見直し作業について、見通しができているべきだったと思います。</p> <p>小中各校の状況共有を行い、授業研究会に相互参加することで、指導方法の共通理解や自校の授業改善に役立てることができた。二部保育所との計画的な交流を図るため、引き続き連携をとっていく必要がある。</p>
13	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	<p>有効な交流になるように、中学校としても努力しています。</p> <p>スクラム教育を意識した授業公開を行うことで、中学校区共通の学び方や学力向上につながる連携を意識し、相互に教育実践を積むことができた。</p>
14	中学校教員の小学校への乗入授業	<p>職員の個人的な事情で、安定した乗り入れにならなかったことが残念でした。</p> <p>中学校教諭から算数、音楽科の専門的な指導を受けることで、中学校との接続を意識した児童理解と授業内容の充実が図れた。</p> <p>この2年間、ほぼ実施できていない(岸中→岸小)</p> <p>時間の調整等大変と思いますが、子どもたちからは、より専門性の高い学習(指導)への達成感や、中学へ行った時の安心感の声を聴いています。</p> <p>直接的な授業と共に教師集団の共通認識を図る機会も必要</p>
15	就学支援検討会	<p>情報交換としては必要だと思いますが、一斉に集まることが必要なのかは検討を要すると思います。</p> <p>複数回の児童観察、相談や校内就学支援検討会で具体的な助言をいただき、支援の必要な児童を適切な就学につなげることができた。</p> <p>西部町村就学支援委員会につながる検討のつめが甘い。</p>
17	中学校区の児童生徒を語る会	<p>会の持ち方については令和元年度の意見をもとに改善案を出しています。</p> <p>各中学校ごとの児童理解を、SC、SSW、教育委員会を交え、情報共有することで、いじめの未然防止や保護者理解につながり、有効であった。</p>
18	学力向上推進計画策定と進捗管理	<p>狭い意味での学力向上について、職員の意識を変える働きかけを行いました。</p>
19	標準学力調査及び分析の実施	<p>校内研修で、継続した自校の標準学力調査結果の成果と課題を共有し、指導に活かしていくことが大切。</p> <p>標準学力調査が年間2回あることによって、個々の職員への働きかけに説得力が出ることを痛感しています。</p>
20	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策により、夏季休業中に学力補充教室は開催されない。夏休みの中学生ボランティアによる学習支援は、学力向上と中学生とのふれあいの機会にもなっていた。</p> <p>英検受検料補助については、より一層、授業の中で周知をはかっていたいと思います。</p>
21	体力向上計画策定と進捗管理	<p>令和元年度は、目に見える成果があったと捉えています。</p> <p>学年進行と共に、その推移を分析し、対応を図ることが必要(単年度から継続された取組へ。生活習慣の見直し。)</p>
	伯耆町教育振興会事	<p>職員の人権意識の向上について、ひまわりセミナーへの参加を促しています。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
22	業 ・人権教育	町全体の人権学習の推進のため、さまざまな関係機関が連携していかなければいけない。人権学習については、小中連携し指導事項や内容を共通理解していく必要がある。
23	小学校外国語教育推進事業	ALT配置は大変ありがたい。専門的な英語活動の推進を行い、児童一人一人の確かな学力の定着を図ることが大切。
24	外国青年招致事業	人間関係づくりには苦慮する場面が少なからずあります。 コロナウイルス感染症の影響下でなかなか難しいですが、継続をお願いします。子どもたちの関心・意欲には必要な存在です。
25	栄養教諭による食指導	この指導もあって、残菜が限りなくゼロに近づいていると思います。 栄養教諭の来校、そして専門的な立場で食の指導の説明を児童にされることで、食の基礎知識や地元食材への愛着をもち、食事の大切さについて学ぶことができた。
26	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	朝食調べを保・小・中で継続し、生活習慣の改善を目指し取り組むことができた。
27	運動部活動推進事業	この事業があることで、職員の部活動への負担軽減がかなりできています。
29	青雲寮管理運営事業	有効活用、活用の活発化を期待します。
30	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・各校研修会	校内研究を進めていくには、不可欠な事業だと思います。
31	小中一貫学力、人間力定着促進事業 ・教委研修会	下の研究大会を含めて、定例的な研修を見直し、喫緊の課題にそった研修を適時もつようにシフトする時期だと思います。
32	伯耆町教育振興会事業 ・研究大会	No31と同様（教委研修会・研究大会を含めて、定例的な研修を見直し、喫緊の課題にそった研修を適時もつようにシフトする時期だと思います。） 先進的な実践に取り組んでこられた鳥取市立桜ヶ丘中学校の「地域とともにある学校づくり」に学ぶ機会を得ることで、自校の取組に置きかえ考えることができた。
33	伯耆町教育振興会事業 ・授業研究会	(昨年度も書きましたが、30との違いがわかりません。) 令和元年度より生活・総合的な学習の時間の授業の研究実践に取り組んでいる。ふるさとキャリア教育を基盤に、地域に開かれた教育課程を今年度さらに研究を深めていきたい。
37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	計画訪問を通し、学校教育の現状把握と理解の上立った指導助言及び教育改善を図ることができ、校内教職員で指導改善に活かすことができる。
38	少人数学級実施事業	本校の教育への満足度の高さは、この事業に負うところが大きいと思います。 組織的に機能を強化(SSW・SCの勤務体制)したことは評価できる。NO39,40,41,42も同様
39	スクールソーシャルワーカー活用事業	ケース会議の中核となり、有益な情報提供を多々いただきました。 校内教職員での児童・保護者対応を行うだけでなく、スクールソーシャルワーカーとの連携により、適切な指導と対応を講じることができた。
40	スクールカウンセラーとの連携	定期的なスクールカウンセラーの来校により、高学年児童を中心に専門的なカウンセリングを行い、児童一人一人の心のケアに当たることができた。 スクールカウンセラーとの連携により、担当が抱え込むことがなくなっています。
41	特別支援教育支援員配置事業・早期支援コーディネーター	今後とも継続をお願いします。 児童の個別相談を行い、保護者とスムーズな話し合い、一人ひとりのニーズに合った対応を行うことができた。
42	特別支援教育支援員配置事業・学習支援員等	今後とも継続をお願いします。 学習支援員の配置は、個別指導を臨機に行うことができ落ち着いた学習に取り組む環境を整えることができ、学校の実情に合わせ引き続き支援をお願いしたい。 配慮を要する児童が増える現状にある。人数だけでなく、質を高めるためには、時給を見直す必要がある。
43	学校図書整備及び図書館司書配置	今後とも継続をお願いします。 配慮を要する児童が増える現状にある。人数だけでなく、質を高めるためには、時給を見直す必要がある。 図書館司書と司書教諭の連携により、校内読書環境の整備や指導を行うことができた。本に親しんだり、教科学習に沿った本の準備等を行ったりして図書館教育が大きく前進している。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		学校図書館にも図書システムを早期に導入してほしい。
44	校務支援システムの活用	校内の情報伝達や、他校との協議等、非常に有効に活用しています。 文書報告や連絡等の簡素化、校務支援システムによる業務改善に取り組むことができている。
45	教育支援センター運営事業	継続は難しかったものの、不登校生徒との関りをもてたという、貴重な実績をつくってもらいました。
46	就学援助事業 ・要保護、準要保護	今後とも継続をお願いします。 コロナ禍における就学状況を的確に把握し、対応する必要がある。※NO47も同様
47	就学援助事業 ・特別支援教育就学奨励金	今後とも継続をお願いします。
48	学校施設整備事業	施設の老朽化により、プール給水配管の水漏れ、それによる水泳学習期間の短縮が起こった。特に児童の安心・安全な施設環境の確保を行うためには、プール全体の改修の必要性がある。
49	小学校施設修繕事業	早期に修繕対応していただき助かっている。 本校、駐車場側フェンスの修繕及び150周年記念事業終了後の校門坂アスファルトの補修工事。
50	中学校施設修繕事業	迅速な対応をいただき感謝しています。
51	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	年度の早い段階での執行に努力していきます。 児童数だけでなく、学級数、教室数も予算配当の計算式に入れるべきと痛感する。
53	バス事業担当課との連携	登校時の見守りの時、バスの運転手さんが大きな声で子どもたちに挨拶されているのを見ると、すごく安心します。
54	ICT環境の整備	「GIGAスクール構想」については、ICT支援員のような人的支援体制との両立をお願いします。 整備が進められており、心強いが、どのように活用するのかも学校任せではなく、指導、支援して頂きたい。 GIGAスクール構想における校内LANの環境整備及び一人一台のパソコン配置の早急な整備をお願いしたい。 書籍・新聞の他、パソコン等を活用した調べ学習が求められ、その面での対応強化を図る必要がある。
55	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	最近の線状降水帯に伴う水災の状況を踏まえ、水につかる地帯(小中学校、役場等の公共の建物)の1階の使用方法を見直してはどうか。(1Fは事務室等で使用しないで、打合せ室、会議室、集会場として見直すことも大切) 国内どの地域で、災害が起きてもおかしくない現代、特に水害は大きな被害を出している。日野川に隣接している学校も多く、避難計画や防災計画の見直しをする事が必要だと思われる。
57	学校給食費補助事業	今後とも継続をお願いします。 学校給食の公会計化を推進していただきたい。
58	食材供給連絡協議会との連携	町内生産者拡大を目指すなら、今年度のようなコロナによる給食数の変更などが大量に発生した際の生産物への補償をしっかりできる体制が必要だと思います。
59	伯耆町教育振興会事業・学校事務	共同学校事務室に向けて、最後の詰めをしていきたいと思っています。
61	生涯学習支援事業 (各種教室・講座の開催)	各公民館とも地域のニーズを反映した取組をされていると思います。 八郷出張公民館は、地域(八郷)にとって有意義と思いますが、参加者が少ないのが気になります。PR活動・意識向上の手立てがあれば・・・と感じます。 各公民館が独自の施策を立てて、取り組まれている。たいへん良い事業である。さらなる発展を望んでいます。
64	生涯学習まちづくり推進事業	公民館出前講座は、八郷地区住民にとって学習の機会を拡張することであり、評価したいと思っています。
65	社会教育主事等の育成	社会教育主事の資格取得を進め、発令してほしい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
67	図書館管理事業	この度、出前図書館が発足したが、まだ知名度が低く加入集落が少ない。これからも町報・鬼テレビ等で周知を図っていく必要があると思います。
		出前図書館を充実していくために、専用の移動図書館車を配備することが重要である。
		図書館職員の異動が多すぎるように思う。図書館職員の待遇改善とスキルアップが必要と思う。
68	図書館振興事業	学校司書を含めた研修等を行っていただき、感謝しています。
		図書館にも色々な振興事業があるようですが、それぞれに役割を果たしているのではないのでしょうか。
		職員の努力により、地域にある身近な図書館としての機能が維持されている。人材の確保とそのための方策が必要だと感じる。
		高齢者読書教室はとても有意義と感じます。年々レベルUPして、参加されている方は生き生きとされ、笑いありで是非続けていただきたいと感じます。
69	図書館協議会委員	図書館協議会の会議で、各委員さんから色々斬新な意見等が出てきます。それぞれの意見が図書館運営に反映されることを願っています。
		毎回、活発な意見が交わされている。具体的な課題に対する提言が生かされ、よりよい図書館づくりにつながって欲しい。
70	こども体力・運動能力等向上事業	直接的に子どもを対象とした事業と共に、指導者(保育士・教師)への研修活動も必要(子どもの体力・運動能力向上には継続した営みが必要)
		運動教室をいつもしていただき、ありがとうございます。子どもたちも楽しみにしています。保育士も一緒に活動し、日ごろの保育の参考にしています。
72	スポーツクラブとの連携による健康づくり	生涯スポーツとしては、競技だけではなく、ウォーキングやヨガ、体操などあってもいいのではないのでしょうか。競技に偏っていませんか。連携ではなく、委託になっていませんか。
		まめまめクラブに参加していますが、適度な運動と頭の体操等楽しみながら出来て大変良い事業だと思います。
		町民の健康づくりを目的としたたいへん良い取り組みです。まめまめクラブは集落の希望があれば2か月から月1回にしてはどうか。
		地域に出かけての活動は、高齢者や遠くに出かけにくい人には有効な活動であり、積雪時など冬季の活動も支援する工夫が必要である。
73	スポーツ推進審議会事業	町内のスポーツ推進については、中学校の部活動も大きな役割をもっていると思います。外部指導者、部活動指導員について、町内で確保できる体制づくりをお願いします。
74	スポーツ推進委員事業	スポーツ推進計画の実行と共に、成果を上げるための組織的な取組の工夫が必要。地理的状況(スポーツ推進員数に比べ一人当たり広域である)をカバーする方策として、準スポーツ推進員(地区ごとに)を指名するなど、多くの人が関わる工夫が必要
75	スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係)	スマイリースポーツクラブと町職員の関係性がわかりやすく感じます。スポーツクラブ(別団体)でなければ成り立たないものでしょうか。総合スポーツ公園内の職員として様々な事業を実施するというのではいけないのでしょうか。
78	伯耆町体育団体等支援事業・一般スポーツ団体等支援	スポ少、部活動、一般のスポーツ指導者の連携が図られるよう希望します。
80	教育委員会表彰事業	本当に必要なのか、子どもたちの意欲の向上につながっているのか、再考すべきかと思えます。 受賞者名を公共施設等に公開し、永久に讃える工夫。スポーツ:体育館の壁にネームプレートを掲示など
81	オールジャパンユニバースin伯耆補助事業	熱中症、天候に加え新たな感染症といった不安要素を抱え、なおかつ、職員の負担も大きいことを考えると、存続を考えるべきかと思えます。
82	地区運動会・その他イベント開催事業	「地区運動会が中止にならないかなあ」という声は聞いても、「ぜひやりたい」という声は耳にしたことがありません。本当に必要な事業なのでしょうか。
		今後、種目の見直しも含め、検討を進めていってほしいと思います。地区の規模・年齢構成もバラついているので難しい課題。ただ地区運動会は続けてほしい。
		運動会は、なくなると喜ぶ人を多く見かけます。そろそろ進化しなければいけないのではないのでしょうか。
		各地区の運動会、駅伝大会等、町民・地区住民が一体となって開催することは、大変有意義な事ではないのでしょうか。これからも続けていって欲しいです。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		地区のスポーツ行事は、「競う喜び」と共に「集う喜び」があると考えている。雨天で中止するより、その対策を工夫すること。 大会参加⇒日常的活動に移行させる。日常的活動から大会参加につなげる工夫。生活体育、スポーツの日常化(週2〜3日)の行動に変移させる工夫。※NO83,84,85も同様
85	伯耆町駅伝	中体連主催の駅伝大会と近いこともあり、参加を見合わせています。 地元の協力や役員の皆さんのご尽力により、たくさんの児童が伯耆町駅伝に参加した。大会に向け、児童・保護者の皆さんが目標を持った体力づくりに取り組む大変有意義な機会だと感じた。
86	スポーツ優秀選手支援事業	今後とも継続をお願いします。 全国大会等での活躍状況がケーブルテレビ等で見られるとありがたいですね。立て看板だけでは、想像が付きません。応援したい気持ちが増えると思います。 する・見る・支えるというスポーツの観点から、支援事業は大きな柱となる。一層の充実(支援できる人材が育つこと)を期待します。
91	高校生ユースセミナー	細々とでも、有志の活動の場を確保することが必要だと思います。 地元に住んでいる高校生の受け皿として、必要と感じる。この中から将来伯耆町を担ってくれる存在が出てくれるとうれしい。 高校生の活動の様子をもっとPRしてほしい。 中学生の時から活動していれば、高校生になっても続ける人もあるかもしれませんね。そもそも中学生からにしてみてもはどうでしょうか。部活とは別枠で活動(年に1回は必ず活動するよう義務付けて)できるよう、学校の配慮が必要です。
93	通学合宿事業	ニーズが大きいことがうかがい知れます。今後とも継続をお願いします。 地域学校協働本部の事業にして、ボランティア主導の事業にしてみてもはどうでしょうか。学校のかかわりがもっと必要だと思います。
98	人権教育推進事業	連綿と続いてきたひまわりセミナーの火は消してはならないと思います。
100	文化センター管理運営事業	1年生から6年生まで、保護者の理解を得ながら文化センターでの学習会参加・交流を深めることができた。 事業概要の「住民の自立」「よりよい生活を図る」というのがよくわかりません。地域住民は自立が課題なのでしょうか。よりよい生活を図るとはどういう意味なのでしょう。
102	町営住宅修繕事業	人権尊重のまちづくりの推進の中に「町営住宅修繕事業」が入っているのは違和感を感じます。
103	埋蔵文化財調査事業	長い間、お疲れさまでした。
104	文化財保護事業	文化財を保護し、永久に後世に残す営みは必要なことであり、それを担う人材の育成も必要である。保存整理⇒活用(展示・公開・解説)⇒ケンガク・知る 発信する・させることが必要になってくる(公開・研究)。文化財整理・保存施設管理事業も同様
106	地区文化祭・まつり開催事業	公民館活動の発表の場としての位置づけは重要だと思います。 各公民館を中心に同好会、まつり等開催されており、各地区にとっても、大変有意義な事業となっております。これからも続けていって欲しいと思います。 二部地区たたらまつりは、地域の総合的なつながりのある祭りであり、児童にとっても見学や学習活動の一環として参加・協力できることは、地域貢献につながる大切な場であると感じる。
107	写真美術館管理運営事業	写真美術館は、伯耆町のみならず鳥取県、我が国の宝であり、広くその存在をアピールする工夫が必要である。写真の保存(作品)と共に、一瞬を写しとったカメラの歴史、カメラの種類等を広く公開する機会を設けて欲しい。
110	地域文化活動の支援	講師のネームバリューは大きいと改めて感じました。
116	写真芸術・文化振興事業	フォトスクールの取組は、中学生にとっても有効な学習の機会であり、ジュニア県展でも大きな成果をあげることができました。 町内にある写真美術館でのフォトスクールは、1・2年生児童・クラブ活動で写真に興味のある児童にとって、見方・考え方・表現を広げ、感性を豊かにすることができる大切な機会であり、今後も継続を望んでいる。

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等に基づき、定例会12回、臨時会2回を開催し、案件数107件(報告30件、議事32件、協議20件、その他25件)を審議した。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する) ・議案等資料を概ね1週間前に送付することで、事前に案件の内容把握を行うことで会議の効率化に努めた。また、H28から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い、見識及び共通理官位を図った。 ・事前に資料等を配布していただき、会議の内容が十分理解でき、会議が効果的に進められた。 ・様々なことが速いスピードで変化していく社会の中、普段なかなか知ることができない教育の最新情報を知れて大変ありがたいです。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催について、防災行政無線で周知した。また、教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開示請求があれば、議事録の開示を行う。 ・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。R元年度は請求無し。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	3	(3)事務局の管理運営	教育委員会の事務局管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果、全国学力・学習状況調査報告結果など) ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度は、総合教育会議を1回開催し、次年度の予算要求、教育事情等に関して協議・検討を行った。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・特に小学校での英語の学習が始まり、とまどいや不安なこともあったが、町長様と直接話をして、お考えを聞くことができた。 		
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また、学校行事等へ参加した。(運動会、体育祭、学習発表会、文化祭、卒業式・入学式など) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・各学校を訪問させていただき、学校の実情、子どもたちの様子が把握できた。 ・定例会で聞くだけでなく、実際の子どもたちの様子や先生方の姿をみせていただいて、より子どもたちのことが見えてくると思います。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度は、岸本公民館、本庁舎で定例会を開催し、併せて当該施設の事業進捗状況等を報告した。 		
6	所管施設の訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
7	研修会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度は、市町村教育委員会研究協議会(名古屋市)、全国市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)、鳥取県市町村教育委員研究協議会に参加するほか、町教育振興会や人権・同和問題実践研究交流会など各種大会に参加し、教育委員としてのスキル向上に努めた。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
			<ul style="list-style-type: none"> ・多くの研修会・研究会に参加させていただき、資質向上に努めようとする意欲がもて、有意義であった。 			